

わたっこハウス

2023年度
事業報告

事業報告

事業実績報告

加算対象児童の個別保育計画の作成

関係機関との連携強化

子どもの権利条約プロジェクトチーム

子どもの集団作り

事業実績報告

年間開所日数 289日
平日平均 55.2人

年間目標 34,150,000円
収益実績 36,343,350円

達成率 106.5%

委託金内訳

項目	金額
保育料事業費 (特別徴収含む)	10,153,000
おやつ・教材費	2,598,000
委託金	20,180,000
児童奨励費	2,816,000
その他の収益	596,350
合計	36,343,350

項目	支援の単位A	支援の単位B	支援の単位A+B
基本額	4,630,000	4,656,000	9,286,000
開所日数加算	456,000	247,000	703,000
長時間開所加算	961,000	961,000	1,922,000
障害児受入推進	2,009,000	2,009,000	4,018,000
障害児受入強化推進	2,000,000	0	2,000,000
家賃等補助	0	540,000	540,000
キャリアアップ 処遇改善費	657,000	526,000	1,183,000
放課後児童支援員等 処遇改善費	264,000	264,000	528,000
合計	10,977,000	9,203,000	20,180,000

事業報告

【加算対象児童の個別保育計画の作成】

個別保育計画の作成により統一した支援をはかり、こどもが安心して過ごせる場を作る。

実施事項

□障害児受入加算、障害児受入推進加算の対象児童5名分の個別保育計画の作成。

- ・個別保育計画書に沿って、対象児童への統一した声掛けや支援の提供ができた。
- ・児童個人の心的負担の軽減が、取り組みへの参加のしやすさに繋がり、経験の場の確保に繋がった。

課題：非常勤職員の個別保育計画の周知不足や情報共有の不足により、現場での支援やその他の現場業務において特定の個人に依存し効率性が損なわれている。

事業報告

【関係機関との連携強化】

子ども達の育ちを、保護者・学校の先生・行政の関係者に見てもらう場を作り、子育て支援の共有と社会資源との連携促進。

実施状況

夏祭りの開催

ババハウス大会の開催

- ・子どもたちだけの参加ではなく、利用児童の保護者、成岩小学校の先生、半田市子育て 育成課、民生委員、名古屋市学童クラブに参加をしてもらい、育成支援の共有ができた。
- ・トランプババ抜き最弱王決定大会の開催を年始に行い、保護者参加を事前募集。日常的に子ども達が遊んでいるトランプで、誰もがルールを知っているババ抜きゲームを採用し、活動の様子を見てもらう場を設定した。

課題：集客を目的としたイベントに、駐車場利用に関するルールの周知徹底不足があり、駐車場混雑を招いた。

当日参加できなかった方に向けての育成支援の情報提供が不足していた。

事業報告

【子どもの権利条約プロジェクトチーム】

子どもの権利を子どもも大人も共に学び、常に子どもの権利が遵守されるための土壌を作る。

実施事項

- 子どもの権利条約プロジェクトチーム第二期生発足
- 子どもの権利条約広報活動
- 子どもの権利条約フォーラムへの参加（職員研修）

- ・プロジェクト参加対象学年を、1～6年生に拡大し（前年度は4～6年生での実施）、有志14名で第二期を開始。年齢で制限されず、権利を共に学べる環境を促進できた。
- ・成岩小学校、半田市役所、法人内福祉事業所を訪問し、権利条約を伝え広める活動や、メディア（中日新聞、cac）に取り上げてもらい、子どもたちから権利について発信することができた。
- ・職員研修で、子どもの権利条約フォーラムに参加し学びを深めた。

課題：認知度がまだまだ高くないため、学童内での権利条約の学びを増やすと共に、地域に向けた広報活動の継続が必要である。

事業報告

【子ども集団作り①異学年の取り組み】

異学年の集団作りを設定し、各人の発達への寄与をはかり、子どもにとって成長・経験・学びの場となるようにする。

実施事項

- グループ活動 内容：飲食グループで、日常におやつ当番などの役割を通して経験を積めるよう設定した。
- フリーおやつ 内容：自分の好みのおやつを選ぶ楽しさと共に、計算を手伝ってもらうなど、交流促進を図った。
- 夏祭り 内容：グループの全員で協力をして、一つのお店を作り上げた。
- わたっこ運動会 内容：運動以外の種目も用意し、運動が苦手な児童も参加しやすい内容とした。
- 縄跳び検定 内容：取り組みやすいように「個人記録ギネスに挑戦」と題し、自己成長を児童本人が感じやすい設定とした。
ギネス記録表を掲示し、可視化することで児童本人のやる気の促進が図られた。
- 伝承遊び大会 内容：すごろくマスの指定された遊び（けんだま・コマ・カードゲーム等）を誰かと一緒に取り組めばゴールができる内容とし、普段交流の少ない児童同士が関われるよう設定した。
- ホワイトデー 内容：有志を募り自由参加とした。おやつ作りを楽しむ、おやつを食べてもらう経験の場として設定した。

・子どもが子どもの中で気付きあい、子どもが子どもの中で成長できる機会となっている。

課題：育成の仕掛けを考えた企画内容であり、職員で作っている。今後は企画内の一部に子どもの意見を取り入れるようにし、質の向上を目指す。

事業報告

【子ども集団作り②学年の取り組み】

年齢の発達段階に合った学年の集団作りを促進し、子どもにとって大切な場所になるようにする。

実施事項

- 3年生主催七夕会 内容：3年生がやりたいこと、みんなに喜んでもらえるにはどうしたらよいかを考え企画。七夕にちなんだ紙芝居、クイズが披露された。
- 4年生対象デイキャンプ 内容：野外炊飯の取り組みを実施。協力しあうことでご飯が食べられる設定とした。
- 5，6年生対象キャンプ 内容：街中ウォークラリーを実施。5年生チーム・6年生チームに分かれてウォークラリー対決をし、学年毎の仲間意識の促進ができた。
- 2年生主催節分会 内容：2年生がやりたいことを形にして実施。手作りの鬼を使った的当てゲームや輪投げゲームを開催した。
- 3年生冒険旅行 内容：いちご狩りを目的地にし地図を読み、相談しあいながら目的地まで歩いた。
- 6年生卒所旅行 内容：旧東海道を歩く。今回は静岡県掛川市日坂宿を歩いた。

- ・同級生しかいない取り組みは子ども達にとって特別感があり、仲間意識の形成が促進されることで集団の力が増す。概ね3年生以上は、同年代の集団や仲間を好み、大人に頼らず活動しようとするため、今後も継続して学年の取り組みを行う。

事業報告

【子ども集団作り③Pokémonカード大会】

子どもたちからのニーズで始まった取り組み。Pokémonカードだからこそ繋がれる子ども同士の関係づくりの促進。子どもにとって大切な場所や居場所を増やす。

実施事項

- 1 Day Pokémonカード大会（8月10日） 内容：学童にある指定デッキで対戦。
- Pokémonカード大会（9月～11月期間） 内容：学童にある指定デッキでのトーナメント戦。
- 1 Day Pokémonカード大会（12月26日） 内容：自宅から個人デッキを持参し対戦。

- ・子ども発信のため、大会に向けて意欲的に取り組むことで自主性が育まれている。
- ・会話の機会が増加・思考力の強化・勝負時のメンタル強化が図られている。
- ・学童でのPokémonカード大会がきっかけとなり、子ども達が休日に外部主催のPokémonカード大会に出場することによって子ども自身の世界が広がり、外の友人が出来るなど、様々な経験が増えてきている。

課題：子ども達からの大会開催数の増加を求める声が多いが、現在大人が設定しないと大会が開催できない状況である。子ども達が自分たちで協力して開催できる力を身に付けられる設定の検討が必要になる。

わたっこハウス

2024年度
行動計画

2024年度 収益目標 36,150,000円

登録児童数 81名

(障害児受入加算対象者名 (A: 3人 B: 4人))

今年度の収益を算出。

年間の収益目標は達成の見込み

委託金内訳

項目	見込み金額
保育料事業費 (特別徴収含む)	12,600,000
おやつ・教材費	2,916,000
委託金 (内訳参照)	18,492,000
児童奨励費	3,264,000
その他の収益	600,000
※キャリアアップ処遇改善費・放 課後児童支援員等処遇改善費	171,000
合計	38,043,000

※2023年度を参考に算出。

項目	支援の単位A	支援の単位B	支援の単位A+B
基本額	4,708,000	4,734,000	9,442,000
開所日数加算	285,000	285,000	570,000
長時間開所加算	961,000	961,000	1,922,000
障害児受入推進	2,009,000	2,009,000	4,018,000
障害児受入強化推進	2,000,000	0	2,000,000
家賃等補助	0	540,000	540,000
合計	9,963,000	8,529,000	18,492,000

※支援の単位B 障害児受入推進加算が取れるよう現在スタッフ調整中。

わたっこハウス事業目的

育成支援と就労支援

児童健全育成事業は、適切な遊び及び生活の場を与え、子どもの状況や発達段階を踏まえながらその健全な育成を図る。また、学校や地域の様々な社会資源との連携を図りながら、保護者と連携して育成支援を行うとともにその家庭の子育てを支援する事を目的とする事業です。

わたっこハウスは以下の3点を目標に日々保育を行っています。

- ①子どもの成長の場・経験の場・学びの場であると共に安心安全に過ごせる場・大切な場所になること目指す。
- ②全ての活動に対して、子どもの権利条約4本の柱を遵守する。
- ③年齢・学年にあった保育を行う。

行動計画

【個別保育計画書の職員周知と実践力の向上】

個別保育計画の作成により統一した支援を、全職員が実施できるようにし、こどもが安心して過ごせる場、保護者が安心して預けられる場を作る。

- 2024年4月～5月 障害児受入加算、障害児受入推進加算対象児童7名分の個別保育計画の作成。
5月～ 個別保育計画書全職員共有・勉強会の開催。
支援の勉強、育成事業の内容や目的、事例検討などを行い、
個々人の支援スキルの向上を図る。

行動計画

【育成支援の情報提供の向上】

子ども達の育ち、育成支援の目的や実施状況等、保護者・学校の先生・行政の関係者に情報を発信し、子育て支援の共有を行う。

2024年 4月～ 毎月末 通信発行（対象：保護者 ツール：メール）

SNSを利用した育成支援の情報発信の開始（対象：外部 ツール：ブログ）

8月末 夏祭り開催（参加対象：保護者、学校の先生、行政関係者、地域住民等）

行動計画

【子どもの権利条約の意識啓発】

子どもの権利を子どもも大人も共に学び、常に子どもの権利が遵守されるための土壌を作る。

- 2024年 5月 プロジェクトチーム第三期メンバー募集
6月 プロジェクトチーム発足/今期活動内容の打合せ
7月～ チーム別活動開始（権利を伝えるためのツール制作等）

・広報活動は下半期、近隣のお店や企業への広報を予定。（詳細は10月中旬中間報告会で報告）

行動計画

【子ども集団作り①異学年の取り組み②学年の取り組み③ニーズを形にした取り組み】

各人の発達への寄与をはかり、子どもにとって成長・経験・学びの場となるようにする。

①異学年の取り組み

- グループ活動（5月～）
- フリーおやつ（6/3）
- 夏祭り（8/29）
- わたっこ運動会(10/21)
- 縄跳び検定（11月中旬）
- 伝承遊び大会（1月中旬）

②学年の取り組み

- 3年生主催七夕会（7/5）
- 4年生対象デイキャンプ（10/26）
- 5，6年生対象キャンプ（11/16.17）
- 2年生主催節分会（2/3）
- 3年生冒険旅行（3/8）
- 6年生卒所旅行（3/22.23）

③Pokémonカード大会

- 第1回トーナメント戦（5月期間）
 - 第2回トーナメント戦（7月期間）
 - 1 Day Pokémonカード大会（夏休み期間）
- ・今回の大会より、トーナメント表の作成や大会の司会進行等、大会自体を作り上げることを子ども達が行う。